OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	スワヒリ語マクンドゥチ方言の民話資料一編 : 子供が鬼に連れ去られた話
Author(s)	古本, 真
Citation	スワヒリ＆アフリカ研究. 2018, 29, p. 135-152
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/69820
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

スワヒリ語マクンドゥチ方言の民話資料一編

― 子供が鬼に連れ去られた話 ―

古本 真

０．はじめに

本稿の目的は、スワヒリ語マクンドゥチ方言 (Kimakunduchi) の話者が筆者に語ってくれた民話のなかの一編を言語資料として公開することである。1 節ではマクンドゥチ方言の基本情報を示す。2 節では表記方針を説明する。3 節では語り手と録音について述べる。4 節は民話の本編である。なお、本稿ではマクンドゥチ方言の文法に関してはほとんど触れない。マクンドゥチ方言の文法に関しては、Racine-Issa (2002) や、古本 (2017) を参照されたい。

１．マクンドゥチ方言について

スワヒリ語には、東アフリカ沿岸部に、およそ 20 の地域変種（方言）が存在することが知られている (Nurse & Hinnebusch 1993: 5−14)。マクンドゥチ方言はそうした地域変種の一つである。筆者の調査協力者の情報に従えば、マクンドゥチ方言に近似する変種の話者は、タンザニア連合共和国、ザンジバル・ウングジャ島の南東沿岸部、ムテンデ (Mtende) からブウェジュウ (Bwejuu) にかけて分布していると考えられる。正確な話者数は不明だが、2012 年タンザニア国勢調査ではマクンドゥチ郡の人口は、11,742 人である[1)]。

東アフリカ沿岸部のスワヒリ語諸変種は、北部諸方言と南部諸方言に分類することが提案されているが、この分類ではマクンドゥチ方言は南部諸方言に属する (Nurse 1982: 168)。

マクンドゥチ方言のことを話者たち自身は、カエ方言 (Kikae) と呼ぶ。また先行研究では、ハディム方言 (Kihadimu) と呼ばれることもある。

なお、スワヒリ語として一般に知られる標準スワヒリ語と、マクンドゥチ方言の間では、語彙、音調、名詞や動詞の屈折形式をはじめとする文法に違いがみられる。

---

1) http://www.nbs.go.tz/ 参照（2014 年 7 月 3 日閲覧）。なお、マクンドゥチ郡単体の人口は公開されていない。本文中の数字は、マクンドゥチ郡を構成する六つの行政地域 (Nganani, Kijini, Mzuri, Kajengwa, Kiongoni, Tasani) の人口の合計である。

２．表記について

2.1. 音素目録と文字転写

マクンドゥチ方言の音素目録は以下の表 1, 2 に示す通りである。以下の表の、[　] 内の記号は IPA によるより近似的な音価である。本稿で例示の際は、基本的に [　] 外の記号を斜体にして用いる。この転写方法は概ね標準スワヒリ語の正書法に対応する。正書法と異なる点は次の通りである。

- 有気音の表記
- 鼻音の成節性の表記
- 調音位置未指定の鼻音音素 N の設定

マクンドゥチ方言の無声破裂音には、有気無気の対立があるため、本稿ではこの点を表記に反映させる。鼻音 /m/ は母音と半母音 /w/ の前では非成節的な [m]、/w/ 以外の子音の前では成節的な [m̩] となる。本稿では、/m/ の実現が [m̩] となる場合は、*m̩*と表記する。N は調音点未指定の成節鼻音で、その調音点は後続する子音に同化する。なお、/N/ の実現形と /m/ の実現形は区別できない場合があるが、両者の違いは、前者の音価決定には形態音韻論的操作が関わっているのに対して、後者はそうでないという点にある。

表 1：母音

i		u
	e [ɛ] o [ɔ]	
	a	

表 2：子音

p		t		ch [ʧ]	k		
p^h		t^h		ch^h [$ʧ^h$]	k^h		
mb		nd		nj [ndʒ]	ng [ŋg]		
b [ɓ]		d [ɗ]		j [ʃ]	g [ɠ]		
f [ɸ]	th [θ]	s	sh [ʃ]			h	
v [β]	dh [ð]	z			gh [ɣ]		
m [m~m̩]		n (n̩)		ny [ɲ]	ng’ [ŋ]		N
		l r					
w				y [j]			

2.2. 語、接語、接辞、及び形態素境界について

本稿では、単独生起が可能か（自由形態素か拘束形態素か）、屈折や派生に関わるかどうかを大まかな基準として、語、接語、接辞を設定する。語境界には空白を、接語境界にはイコールを、接辞境界にはハイフンを付す。プラスはその二つの要素が複合語を形成していることを示している。

表 3：語、接語、接辞の違い

	単独生起	屈折や派生に関わるか
語 (word)	可	—
接語 (clitic)	不可	関わらない
接辞 (affix)	不可	関わる

なお、名詞や形容詞の中には、接頭辞と語幹に分けられるものが多くあるが、接頭辞が指大化や指小化を表していると考えられる場合を除き、名詞や形容詞を接頭辞と語幹に分節することはしない。また、動詞の語幹は、語根と派生接尾辞、末母音を分ける分析もありうるが、本稿では分節しない。

-ja「来る」、*-enda*「行く」、*-isa*「終わる」、*-aza*「始まる」には、別の動詞の語幹が後続しうるが、こうした動詞連続の間にはハイフンを付す。また、標準スワヒリ語の正書法では、所有を表す述語である*-na* と後続する名詞の間に空白が置かれるが、本稿では、ハイフンを付すことにする。これは、*-na* の語らしさが他の自立語と比べて低いためである。*-na* の肯定形は、文末に現れことがなく、所有されるモノを表す名詞が必ず後続する。また、*-na* と後続する名詞との間には、副詞句を挿入することができない。

2.3. その他表記に関する留意事項

民話のテキストの一行目は、2.1 節、2.2 節で示した方針に基づく話者の語りの転写、二行目はグロス（形態素ごとの意味や文法情報）、三行目は日本語訳となる。グロスの略号については、稿末の略号一覧を参照されたい。一行目のピリオドはピリオドの直後に明らかなポーズがある場合に付している。このポーズは、文境界とは必ずしも一致しているわけ

ではなさそうである。聞き取れなかった部分には (?) を記す。二行目のピリオドは、一つの形態素に対応する意味や機能が複数ある場合に付している。形態素が現われないことが形態音韻論的、もしくは形態論的に説明できるもの、かばん形態素については、複数の機能をグロス間にコロンを付すことで示す。一つの形態素に対応する英語の訳語が複数から成る場合は、英語の訳語の間に下線を付す。三行目の (?) は日本語訳が不確かであることを意味する。

３．話者と録音について

まず、以下に話者と録音に関する情報を示す。

- 収録日：2016 年 9 月 19 日
- 収録場所：話者の自宅（マクンドゥチ郡マタズィ集落）
- 収録時間：5 分 52 秒
- 語り手：Zainabu Khatibu Bonde 氏、収録時推定 60 代前半、女性、マタズィ集落出身
- 隣席者：Zainabu 氏の娘（10 代中ごろ）、本稿の筆者

語り手である Zainabu 氏は、10 歳前後から 20 歳前後まで、マクンドゥチ郡を離れ、ウングジャ島中部のトゥングゥのおじ夫妻のもとで暮らしている。おじ夫妻はともにマクンドゥチ方言話者である。Zainabu 氏の民話というのは、トゥングゥで暮らしていた際におばから口頭で伝えられたものである。なお、Zainabu 氏は学校教育を受けておらず、かろうじて数字が読めるくらいで、読み書きはほとんどできない。

本稿で提示するものは、Zainabu 氏が筆者に語ってくれたなかの民話の一つにすぎない。この録音データには続きがあり、他二編の民話も収録されているが、紙幅の関係上本稿には掲載しない。また、この録音の前日（2016 年 9 月 18 日）にも、二編の民話を語ってもらっているが、それについては、古本 (2017) を参照されたい。

なお、テキストの中には、民話の本文だけでなく、いわゆる地の文（(1), (9), (23)）も含まれる。

４．民話テキスト

(1) *ku-i-fuguu.*

2SG.SM-CL9.OM-open.PFV

「(レコーダーを) 開けた？ (録音し始めた？)」

(2) *paukwa.*[2)]

tale_opening

「お話を始めます。」

(3) *(pakawa).*

reply_to_tale_opening

(「始めて。」)

(4) *a-li-ondokea.* *makame* *wa=makame.*[3)]

3SG.SM-PST-prosper PN of.CL1=PN

「マカメの子、マカメというものがおりました。」

(5) *makeme* *wa=makame* *yulya* *a-ka-oa*

PN of.CL1=PN DEM.DIST.CL1 3SG.SM-CONS/COND-marry

「そのマカメの子、マカメは結婚しました。」

(6) *a-ø-vyo-oa* *a-ka-vyaa.* *wana* *ishirini*

3SG.SM-PFV-CL8.NMLZ-marry 3SG.SM-CONS/COND-bear children twenty

「彼は結婚したとき、子供をもうけました。20 人の子供。」

---

2) *paukwa* は物語を始めるときの決まり文句である。聴衆は *pakawa* と応答する。

3) Zainabu 氏の話の冒頭には、多くの場合、このフレーズが現われる。なお、*a-li-ondokea* の*-li-*という接頭辞は、マクンドゥチ方言のものではなく、威信変種であるウングジャ方言からの借用であることが推測される。

(7) *a-ø-vyo-vyaa wana ishirini kia mwana ka-vyaligwa siku yake.*

3SG.SM-PFV-CL8.NMLZ-bear children twenty every child 3SG.SM-bear.PASS.PFV day his/her.CL9

「20 人の子供をもうけた際、それぞれの子は、別々の日に生まれました。」

(8) *a-ø-vyo-vyaa wana ishirini yulya.*

3SG.SM-PFV-CL8.NMLZ-bear children twenty DEM.DIST.CL1

a-ka-kaa hata siku iyo.

3SG.SM-CONS/COND-sit even day DEM.MED.CL9

「20 人の子供が生まれたときは、その日も、その人はおりました。」

(9) *paukwa izo N-me=ga-tenda=zo icho kipindi cha=nyuma*

tales DEM.MED.CL10 1SG.SM-PRF=bit-do=DEM.MED.CL10 DEM.MED.CL7 period of.CL7=rear

si-jui ama umo a-ø-vyo-kwenda ka-tii iyo.

1SG.SM.NEG-know.NEG COMP DEM.MED.CL18 3SG.SM-PFV-CL8.NMLZ-go 3SG.SM-put.PFV DEM.MED.CL9

ama iyo y-ende na=maji tu.

COMP DEM.MED.CL9 CL9.SM-go.PFV COM=water only

「これらのお話は前にしたことがあるよ。その中（レコーダーの中）に、彼（筆者）が行ったときに、それを彼が入れたか、私は知らない。 あるいは、それは水とともに行ってしまったか（無くなってしまったか)。」

(10) *a-ø-vyo-vyaa wana ishirini.*

3SG.SM-PFV-CL8.NMLZ-bear children twenty

walya wanak^{h}ele a-ka-wa-vo ya=mwisho kazi yake.

DEM.DIST.CL2 children 3SG.SM-CONS/COND-COP-EXIST of.CL1=end work his/her.CL9

k-enda a-ka-bana ndege. njo=kazi yake.

3SG.SM-go 3SG.SM-CONS/COND-press bird BGR=work his/her.CL9

「彼（マカメ）が 20 人の子供をもうけたとき、その子供たちの中で、最後の子がいて、彼の仕事は、鳥を挟み（捕まえる？）に行くことです。それが彼の仕事です。」

(11) *hata siku iyo a-k-enenda mahaa mwitu-ni uko.*

even day DEM.MED.CL9 3SG.SM-CONS/COND-go place forest-LOC DEM.MED.CL15

a-k-ona ki-jumba ja=icho+ko.

3SG.SM-CONS/COND-see DIM-building like=DEM.MED.CL7+DEM.MED.CL15

「その日も、彼は、そこの森に行きまして、あそこにあるような小屋を目にしました。」

(12) *ki-jumba kilya a-ø-vyo-ch-ona a-ka-sema*

DIM-building DEM.DIST.CL7 3SG.SM-PFV-CL8.NMLZ-CL7.OM-see 3SG.SM-CONS/COND-tell

nda=ga-omba maji ya=ku-nywa ki-jumba icho+ko

go:1SG.SM=bit-ask_for water of.CL6=INF-drink DIM-building DEM.MED.CL7+DEM.MED.CL15

maji yangu y-esi ṃno ki-buyu-ni.

water my.CL6 CL6.SM-finish.PFV DEM.PROX.CL18 DIM-calabash-LOC

「その小屋を見つけたとき、『あそこの小屋に飲み水をもらいに行く、この瓢箪の中の私の水はなくなってしまった』と彼は言いました。」

(13) *a-k-enenda a-ka-ngia ṃlya nyumba-ni*

3SG.SM-CONS/COND-go 3SG.SM-CONS/COND-enter DEM.DIST.CL18 house-LOC

a-ka-nywa maji ha-li-wahi ku-nywa maji

3SG.SM-CONS/COND-drink water 3SG.SM.NEG-PFV.NEG-be_in_time INF-drink water

ka-na-sikia nyannyannyannyan majimwi ya-na-kuja.

3SG.SM-IPFV-hear ONM genies CL6.SM-IPFV-come

「彼が行って、その家の中に入って水を飲み、水を飲み終わる前に、にゃんにゃんにゃんにゃんという音を彼は耳にします。小鬼たちがやってきています。」

(14) *ma-ji-kelele moja kwa=moja majimwi ya-na-kuja.*

PL-AUG-noise one of.CL15=one genies CL6.SM-IPFV-come

「耳障りな音はまっすぐに（近づいています)、小鬼たちがやってきます。」

(15) *ya-ø-vyo-kuja* *yalya.* *yulya* *mwanak^{h}ele*

CL6.SM-PFV-CL8.NMLZ-come DEM.DIST.CL6 DEM.DIST.CL1 child

ka-ji-tungu *juu* *ya=mwamba* *ja=uko.*

3SG.SM-REFL-put.PFV above of.CL9=garret like=DEM.MED.CL15

「そいつらがやってきたとき、その子供はあそこのような屋根裏の上に身を潜めました。」

(16) *ka-na-jamba* *pyupyupyupyu* *ka-na-jamba*

3SG.SM-PFV-fart ONM 3SG.SM-IPFV-fart

「彼（子供）はピュピュピュピュと屁をこいています。彼は屁をこいています。」

(17) *he he yamaa inyo nyinyi nyee. he yamaa ino nini he.*

INT INT colleague DEM.PROX.CL9 what Q INT colleague DEM.PROX.CL9 what INT

he yamaa kina na-sikia pyu na-sikia pyu. he yamaa.[4)]

INT colleague HESIT IPFV:1SG.SM-hear ONM IPFV:1SG.SM-hear ONM INT colleague

「『おい、お前これはなんだ。』『おい、お前これはなんだ。』『お前、俺はピュっという音が聞こえるぞ。』『俺はピュっという音が聞こえるぞ。』『おいお前。』」

(18) *tena yulya* *mwanak^{h}ele* *a-k-emba.*

then DEM.DIST.CL1 child 3SG.SM-CONS/COND-sing

「そして、その子供は歌いました。」

(19) *heee heee mayombe woo.*

INT INT ? INT

「『へーエエ、へーエエ、マヨンベー オオ。』」

4) Zainabu 氏の民話の中では、小鬼のセリフの歯茎音はしばしば口蓋化する。小鬼というキャラを特徴づけるために、こうした口蓋化が用いられていると考えられる。

(20) *wao majimwi wa-kazwa wa mambo*

DEM.MED.CL2 genies 3PL.SM-please.PASS.PFV HESIT things

ya=nyimbo i-wa-kaza. na=mashuzi.

of.CL6=song CL9.SM-CL2.OM-please.PFV COM=farts

「その小鬼たちは、歌の内容が気に入りました。それとおならも。」

(21) *hee hee mayombe woo. hu-onana ṃsitu wa=kiwengwa eee eee mayombe woo.*

INT INT ? INT HAB-see.RECP forest of.CL3=PN INT INT ? INT

kwa=heri na-kwenda za.

of.CL15=happiness IPFV:1SG.SM-go my.CL10.HESIT

hu-onana ṃsitu wa=kiwengwa we hee hee mayombe woo.

HAB-see.RECP forest of.CL3=PN 2SG INT INT ? INT

mie njo=kamili+ishirini we eee oo mayombe wooo.

1SG BGR=exactly+twenty 2SG INT INT ? INT

「『へーエエ、へーエエ、マヨンベー、オオ。キウェングワの森の中で出会うものだよ。へーエエ、へーエエ、マヨンベー オオ。さよなら、私は行っちゃうよ、キウェングワの森の中で出会うものだよ。へーエエ、へーエエ、マヨンベー オオ。私こそがちょうど 20 番目（子）だよ。エエエ、オオ、マヨンベー、オオ。』」

(22) *eeeee eeee mayombee woo. hu-onana ṃsichu wa=kiwengwa we yee yee.*

INT INT ? INT HAB-see.RECP forest of.CL3=PN 2SG INT INT

「『エーエエエ、エーエエエ、マヨンベー、オオ。キウェングワの森の中で出会うものだよ。エエエエ エエエエ。』」

(23) *jana ka-nyi-uzu kwa=nini majimwi*

yesterday 3SG.SM-1SG.OM-ask.PFV of.CL15=what genies

wa-na-choea kiṃji ha-wa-na-choea kikae.

3PL.SM-IPFV-speak town_dialect NEG-3PL.SM-IPFV-speak Kikae

「昨日、彼（筆者）は、なぜ、小鬼たちは街の言葉でしゃべるのか、カエ方言を話さないのかと尋ねたんだよ。」

(24) *eee eee mayombe woo.*

INT INT ? INT

「『エーエエ、エーエエ、マヨンベー、オオ。』」

(25) *tena kia ɱtʰu kesho a-je kwangu. kesho a-je kwangu.*

then every person tomorrow 3SG.SM-come.SUBJ my.CL15 tomorrow 3SG.SM-come.SUBJ my.CL15

kesho ki-dege N-ja-ki-chukua. kesho ki-dege kwangu.

tomorrow DIM-bird 1SG.SM-come-CL7.OM-take tomorrow DIM-bird my.CL15

「そして、みんなが、『明日は、彼は、私のところにいらっしゃい。』『明日は、私のところにいらっしゃい。』『明日は、小鳥[5]を私が捕まえます。』『明日は、小鳥は私のところで。』」

(26) *haya.*

FIL

「はい」

(27) *hata siku iyo ke-me-kaa hata kuno mama=ake*

even day DEM.MED.CL9 3SG.SM-PRF-sit even DEM.PROX.CL15 mother=his/her

ha-na-koneka kwa=machozi

3SG.SM.NEG-IPFV-see.STAT of.CL15=tear

ke-me-konda ka-na-lawa tʰongo na=mavi.

3SG.SM-PRF-slim 3SG.SM-IPFV-come_from eye_mucus COM=feces

「その日も、彼は（小鬼たちのところに）滞在しました。こちらで、彼のお母さんは、涙で見ることができません (?)。彼女はやせて、目ヤニと糞を出しています。」

(28) *mwana=we ha-na-ɱ-ona na=baba=ake ja=vivyo.*

child=his/her 3SG.SM.NEG-IPFV-3SG.OM-see COM=father=his/her like=DEM.MED.CL8

「彼女の子供を、彼女は見ません。彼の父親も同様です。」

---

[5]「小鳥」というのは、連れ去られた子供のことを指していると考えられる。

(29) *hata siku iyo a-ka-sema*

even day DEM.MED.CL9 3SG.SM-CONS/COND-tell

jamaa mie kesho nyi-enende kwetu kesho+kutwa ee cha.

colleague 1SG tomorrow 1SG.SM-go.SUBJ our.CL15 tomorrow+daytime INT FIL

「その日、『お前さん、私は、明日、私たちのところに行ってもよいか、明後日も』と彼（子供）は言いました。」

(30) *jamaa ki-dege ki-na-chaka ki-ka-velekwe* (?) *kwao=cho*

colleague DIM-bird CL7.SM-IPFV-want CL7.SM-CONS/COND-send.PASS.SUBJ their.CL15=DEM.MED.CL7

ṃ-nya-ng'ombe ṃ-nya-punja ṃ-nya-ngamia ṃ-nya-fayashi

CL1.NMLZ.SM-POSS-cow CL1.NMLZ.SM-POSS-donkey CL1.NMLZ.SM-POSS-camel CL1.NMLZ.SM-POSS-horse

a-yeche vano zawadi. a-s-enende mikono michupu

3SG.SM-bring.SUBJ DEM.PROX.CL16 gift 3SG.SM-NEG-go.SUBJ hands empty.CL4

yuno vano ke-me-kaa hacha kwei yeche zawadi

DEM.PROX.CL1 DEM.PROX.CL16 3SG.SM-PRF-sit even really bring.IMP gift

kia ṃch^{h}u a-ø-enja-mw-imbia.

every person 3SG.SM-PFV-go:NMLZ.CL1-CL1.OM-sing.APPL

a-n-yechee na=mie vano.

3SG.SM-3SG.OM-bring.APPL.SUBJ COM=1SG DEM.PROX.CL16

「『お前さん、小鳥は、彼らのところに送られたがっている。牛を持っているもの、ロバを持っているもの、ラクダを持っているもの、馬を持っているものは、ここに贈り物を持ってこい。こいつは、手ぶらで行くわけにはいかない。彼はしばらく住んだ。贈り物を持ってこい。彼が歌いに行った人はみんな、彼に私と一緒に（贈り物を）渡そう。』」

(31) *haya.*

FIL

「はい」

(32) *hata ja=kesho. ṃ-na-farasi ṃ-na-ng'ombe ṃ-na-mbuzi*

even like=tomorrow CL1.NMLZ.SM-POSS-horse CL1.NMLZ.SM-POSS-cow CL1.NMLZ.SM-goat

ṃ-na-pʰunda kia ṃtʰu ka-tii kwapa-ni.

CL1.NMLZ.SM-POSS-donkey every person 3SG.SM-put.PFV armpit-LOC

「そして翌日も、牛を持っているもの、ヤギを持っているもの、ロバを持っているもの、みんな、わきの下に（ロープを）入れています。」

(33) *wa-ka-ja haya safari saa tʰatu.*

3PL.SM-CONS/COND-come FIL travel hour three.CL9/CL10

「彼らがきて、『はい、出発は 9 時です。』」

(34) *watʰu wa-ka-toka i-ø-vyo-timu saa tʰatu*

people 3PL.SM-CONS/COND-come_from CL9.SM-PFV.CL8.NMLZ-be_complete hour three.CL9/CL10

umo njia-ni wa-na-piga mbio

DEM.MED.CL18 road-LOC 3PL.SM-IPFV-hit speed

wa-ja vano na=uko majezi.

3PL.SM-come.PFV DEM.PROX.CL16 COM=DEM.MED.CL15 PN

「9 時ちょうどになると、人々は道に出てきて、彼らは走っています。彼らはここや、マジェズィに来ました。」

(35) *wa-na-kwenenda ja=vano ja=na=uko majezi*

3PL.SM-IPFV-go like=DEM.PROX.CL16 like=COM=DEM.MED.CL15 PN

wa-na-piga mbio tu wa-na-piga mbio tu.

3PL.SM-IPFV-hit speed only 3PL.SM-IPFV-hit speed only

「彼らはここのようなところや、マジェズィのようなところに行きます。彼らは急いでいます。彼らは急いでいます。」

(36) *hata.*

even

「そして。」

(37) *eee eee mayombe woo. mie njo=kamili+ishirini we eee eee mayombe woo.*

INT INT ? INT 1SG BGR=exactly+twenty 2SG INT INT ? INT

kwa=heri na-kwenda zangu we kwa=mama na=baba=angu we.

of.CL15=happiness IPFV:1SG.SM-go my.CL10 2SG of.CL15=mother COM=father=my 2SG

yeee eee mayombe woo.

INT INT ? INT

「『エエエ、エエエ、マヨンベー、オオ、私こそが 20 番目だ。エエエ、エエエ、マヨンベー、オオ。さよなら、わたしは行きます。お母さんとお父さんのところへ。エエエ、エエエ、マヨンベー、オオ。』」

(38) *haya.*

FIL

「はい」

(39) *wa-k-enenda umo njia-ni. mie njo=kamili+ishirini na-kwenda zangu*

3PL.SM-CONS/COND-go DEM.MED.CL18 road-LOC 1SG BGR=exactly+twenty IPFV:1SG.SM-go my.CL10

mie njo=kamili+ishirini na-kwenda zangu.

1SG BGR=exactly+twenty IPFV:1SG.SM-go my.CL10

「彼らはその道の中に行きました。『私こそが、ちょうど 20 番目、私は行く。私こそがちょうど 20 番目、私は行く。』」

(40) *a-k-enenda kwao.*

3SG.SM-CONS/COND-go their.CL15

「彼は彼らのところへ行きました。」

(41) *wa-ø-vyo-fika wazee wa-ka-ji-tia mivungu-ni*

3PL.SM-PFV-CL8.NMLZ-arrive elders 3PL.SM-CONS/COND-REFL-put under_the_bed-LOC

wa-na-kona lamilami ya=watʰu wa-na-sema

3PL.SM-IPFV-see troop of.CL9=people 3PL.SM-IPFV-tell

vano *tu-na-ja-chinjwa* *tu-na-ja-ligwa.*

DEM.PROX.CL16 1PL.SM-IPFV-come-slaughter.PASS 1PL.SM-IPFV-come-eat.PASS

「彼らがついたとき、（彼の）両親はベッドの下に身を隠し、人の群れを見ています。彼ら（両親）は『私たちは、殺される、私たちは食べられる』と言っています。」

(42) *wa-ø-vyo-kona* *lamilami* *ya=watʰu*

3PL.SM-PFV-CL8.NMLZ-see troop of.CL9=people

wa-ka-zidi *ku-ji-chochomeka* *mivungu-ni*

3PL.SM-CONS/COND-become_greater INF-REFL-get_inside under_the_bed-LOC

watʰu *wa-ø-vyo-fika* *valya* *vao* *a-ka-sema*

people 3PL.SM-PFV-CL8.NMLZ-arrive DEM.DIST.CL16 their.CL16 3SG.SM-CONS/COND-tell

vano *mie* *njo=vetu.*

DEM.PROX.CL16 1SG BGR=our.CL16

「彼らは人の群れを見たとき、ベッドの下のさらに奥へと隠れました。人々が、その彼らのところに着いたとき、彼（子供）は『こここそが私たちのところだ』と言いました。」

(43) *ki-k-enda-lavigwa* *ki-mama=ake* *na=ki-baba=ake*

CL7.SM-CONS/COND-go-take_out.PASS DIM-mother =his/her COM= DIM-father=his/her

vi-wa *ja=vilya* *uzi.*

CL8.SM-COP.PFV like=DEM.DIST.CL8 thread

「小なお母さんは引っ張り出されに行きます。小さなお父さんも。彼らはまるで糸のようです。」

(44) *vi-ka-korogewa* *uji=ga* *vi-ka-nywa*

CL8.SM-CONS/COND-stir.APPL.PASS gruel=bit CL8.SM-CONS/COND-drink

vi-k-oswa *vi-ka-vwaa* *nguo* *zuri.*

CL8.SM-CONS/COND-wash.PASS CL8.SM-CONS/COND-wear clothes good.CL9/CL10

「彼らはおかゆをつくってもらい、飲み、（体を）洗われ、よい服を着ました。」

(45) *ilya siku ilya watʰu tena kiambo-ni pwi.*

DEM.DIST.CL9 day DEM.DIST.CL9 people then village-LOC plenty

「その日、村には人がたくさん。」

(46) *wa-ka-ja.*

3PL.SM-CONS/COND-come

「彼らは来て、」

(47) *he jamaa shida ilya. ee jamaa kamili+ishirini ka-ja.*

INT colleague difficulty DEM.DIST.CL9 INT colleague exactly+twenty 3SG.SM-come.PFV

ee jamaa mie ta yuno N-ja-m̩-leta.

INT colleague 1SG no DEM.PROX.CL1 1SG.SM-come.PFV-3SG.OM-bring

「『ああ、お前さん、その困難』『あら、お前さん、ちょうど二十番目が来た』『違います。私が彼（二十番目）を連れてきたんです。』」

(48) *a-ka-wa ka-vizi wazee wake.*

3SG.SM-CONS/COND-COP 3SG.SM-interrupt.PFV elders his/her.CL2

「彼は、両親を遮りました。」

(49) *yuno tw-evu tu-mu-okoto suwe ka-ja kwetu.*

DEM.PROX.CL1 1PL.SM-COP.PST 1PL.SM-3SG.OM-pick_up.PFV 1PL 3SG.SM-come.PFV our.CL15

「『こいつは、私たちが拾いました。彼は我々のところへやって来ました。』」

(50) *kwa=ivyo ki-pete wa=ki-pete kino.*

of.CL15=DEM.MED.CL8 DIM-ring of.CL1=DIM-ring DEM.PROX.CL7

「こういうわけで、この魔法の指輪。」

(51) *a-ka-veleka njipete wa=nijipete.*

3SG.SM-CONS/COND-send ring of.CL1=ring

「彼は、魔法の指輪を送りました。」

(52) *shida yoyoti i-na-yo-wa-ko njipete*

difficult any.CL9 CL9.SM-IPFV-CL9.NMLZ-COP-EXIST ring

ino iyo iyo to i-lole.

DEM.PROX.CL9 DEM.MED.CL9 DEM.MED.CL9 HESIT CL9.OM-look.SUBJ

u-y-ambie u-y-otee uko kwetu tu

2SG.SM-CL9.OM-tell.SUBJ 2SG.SM-CL9.OM-point.APPL.SUBJ DEM.MED.CL15 our.CL15 only

sawa ya=uko kwetu basi tu-cha-kuja.

direction of.CL9=.DEM.MED.CL15 our.CL15 FIL 1PL.SM-IRR-come

「『存在するありとあらゆる困難に、この指輪、を眺めなさい。これに話しかけ、これを私たちの方向に向けなさい。そうすれば私たちが来ます。』」

(53) *a-ka kama ki-pete wa=ki-pete*

3SG.SM-CONS/COND.HESIT like DIM-ring of.CL1= DIM-ring

ki-ka-jenga ma-j-umba.

CL7.SM-CONS/COND-build PL-AUG-building

「指輪は御殿を建てました。」

(54) *vavo valya ma-ji-duka wa=arabu wa=masa wa=ɱzungu.*

DEM.MED.CL16 DEM.DIST.CL16 PL-AUG-shop of.CL1=Arabs of.CL1=Masai.HESIT of.CL1=Westerner

「そこには、アラブ人の、マサイの、白人の店。」

(55) *kia jambo wa-na-tumiza tu wa-na-tumiza tu*

every thing 3PL.SM-IPFV-employ.CAUS only 3PL.SM-IPFV-employ.CAUS only

walya watʰu wa-li-tendeka wasichana ulya ukongwe pya u-uku.

DEM.DIST.CL2 people 3PL.SM-PST-do.STAT girls DEM.DIST.CL3 old.age also CL3.SM-leave.PFV

「ありとあらゆることを彼らはさせにさせました。その人々は、娘になりました。年老いた姿も消え去りました。」

(56) *ha-wa-na-nuka* *jambo.*
NEG-3PL.SM-IPFV-smell thing
「彼らは臭いません。」

(57) *kia* *jambo* *maana* *tena* *wa-a* *juu*
every thing reason then 3PL.SM-COP.PFV above
kwa=juu *mapolo* *ya=michele* *ya-wa* *umo* *kati.*
of.CL15=above sack of.CL6=rice CL6.SM-COP.PFV DEM.MED.CL18 inside
「ありとあらゆること、だから、彼らは上のさらに上にいます。その中には米の詰まった袋があります。」

(58) *paukwa* *yangu* *isi.*
tale my.CL9 finish.PFV:CL9.SM
「私のお話はおしまい。」

略号一覧

1	first person（1 人称）
2	second person（2 人称）
3	third person（3 人称）
APPL	applicative（適用）
AUG	augmentative（指大）
BGR	background（背景）
CAUS	causative（使役）
CL	noun class（名詞クラス）
COM	comitative（共格）
COMP	complementizer（補文標識）
COND	conditional（条件）
CONS	consecutive（継起）
COP	copula（コピュラ）
DEM	demonstrative（指示詞）
DIM	diminutive（指小）
DIST	distal（遠称）
EXIST	existence（存在）
FIL	filler（フィラー）

HESIT	hesitative（言いよどみ）
IMP	imperative（命令）
INF	infinitive（不定）
INT	interjective（間投詞）
IPFV	imperfective（未完結）
IRR	irrealis（未実現）
LOC	locative（所格）
MED	medial（中称）
NEG	negative（否定）
NMLZ	nominalizer（準体言化）
OM	object marker（目的語標識）
ONM	onomatopoeia（オノマトペ）
PASS	passive（受動）
PFV	perfective（完結）
PL	plural（複数）
PN	proper noun（固有名詞）
POSS	possessive（所有）
PRF	perfect（完了）
PRO	pronoun（代名詞）
PROX	proximal（近称）
PST	past（過去）
Q	question（疑問）
REFL	reflexive（再帰）
SG	singular（単数）
SM	subject marker（主語標識）
STAT	stative（状態）
SUBJ	subjunctive（接続）

参考文献

Nurse, Derek. 1982. “A tentative classification of the primary dialects of Swahili.” *Sprache und Geshichte in Afrika*, 4, 165–206.

Nurse, Derek, & Hinnebusch, Thomas J. 1993. *Swahili and Sabaki: A linguistic history.* Berkeley, University of California Press.

Racine-Issa, Odile. 2002. *Description du Kikae: Parler Swahili du sud de Zanzibar: Suivie de cinq contes.* Leuven, Peeters Publishers.

古本 真. 2017.「スワヒリ語マクンドゥチ方言の文法概略と民話資料二編」『言語記述論集』9, 115–171.